

令和1年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	松本市波田恋人の丘活性化事業
事業主体 (連絡先)	恋人の丘活性化実行委員会
事業区分	(6) その他地域の特色、個性を生かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	760,342 円 (うち支援金: 525,000円)

事業内容

松本市波田地区恋人の丘周辺では公共施設と周辺の有志商業者により売出しやイベントを共同で行っているが、近隣へ大型直売施設等が建設され、利用客が減少傾向である。周辺地域への集客向上をさせるため、昨年度は地元有志の各団体からもご協力をいただき、ウオーキングコースを開設した。本年度は昨年度開設したウオーキングコースを活用し、＜自然・文化＞＜健康増進＞＜地元特産品PR＞の要素を組み入れたウオーキングイベントを実施した。また、地元の産物を活用した新商品を開発すべく、試作研究に取り組み、ウオーキングイベントの際には試作品の試食アンケートを実施し、消費者からの意見を聞いた。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

ウオーキングイベントを夏と秋の2回開催したが、2回目は台風19号が直撃したため延期せざるを得なくなり、冬に差し掛かる日程のため、時間帯も夜から昼へ変更した。

参加者はそれぞれ約20名と多くはなかったが、各所に配置した解説員による歴史や景観スポットの解説や、特産品のふるまいなど、地域の歴史や産業などのPRができ、参加者からも好評をいただいた。

地域の様々な団体が一つの事業に取り組むことにより、お互いに連携を図ることができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

来年度も引き続きウオーキングイベントを実施し、イベントを定着させることにより、当該地区や近隣の商工業者、商店街等への誘客等、地域経済への波及を目指したい。

また、本年度実施した試作品の試食アンケートの結果をもとに、来年度は商品化し、地域ブランドの確立を図る。



【ウオーキングイベントの様子】

【目標・ねらい】

- ①当該地区への入込客数の増加
- ②地元農産物等の有効活用

※自己評価 【B】

【理由】

- ・当該地区への入り込み客数が目標の10%増に対し5%減少。
- ・イベントの際のふるまいや、新商品の研究材料として地元農産物等を有効活用できた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある